

鉄道開業一五〇年「岩越線と新発田藩」

wanted

この写真は、聖籠町（旧新発田藩）大野家が所蔵するもので、工部省で鉄道開業に関わった大野誠（後に長野県令）と共に伊藤博文・三条実美らが写ると伝わります。測量機や外国人、その他の人物や場所の詳細をご存知の方はご一報願います。



大野誠

三条実美

伊藤博文

1872(明治5)年10月14日 鉄道開業の日
明治天皇をのせ新橋駅-横浜間を走った

同時開催

鉄道開業式典列車

大野誠・井上勝・山尾庸三
西郷隆盛・勝海舟ら

乗客展

一八七二（明治五）年十月十四日に日本初の鉄道が新橋-横浜間に開業。この日、新橋と横浜の停車場で明治天皇のご臨席を仰いで開業式典が催される。

そして明治天皇を乗せた日本初の「お召し列車」（式典列車）が、新橋-横浜間を走り、熾仁親王・西郷隆盛・勝海舟など維新の偉人、大隈重信・渋沢栄一ら新政府の牽引者、そして鉄道の父井上勝・工学の父山尾庸三ら鉄道工事の立役者が乗客となった。

このそうそうたるメンバーのなかに新潟（旧新発田藩）出身の工部少丞・大野誠の名がある。

当展示は、百五十年前にこの式典列車に乗車したメンバーの本館所蔵の書等ゆかりの品をはじめ、聖籠町大野家所蔵の大野誠の書簡などを通じ、式典列車メンバーの書による再会を果たし、思いに触れる一助になればと願います。

※伊藤博文は、岩倉使節団として開業日に日本不在で乗車していませんが、鉄道や大野誠と関係が深いことからメンバーに加えて展示しています。